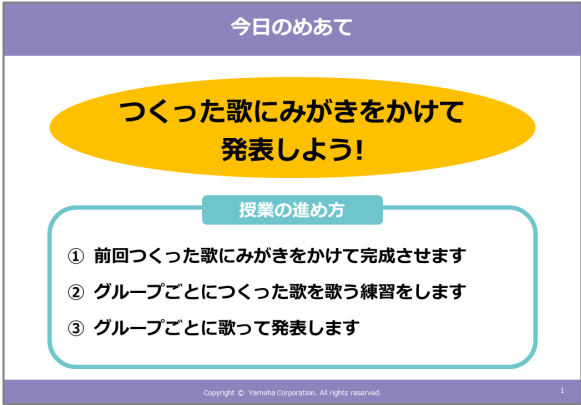
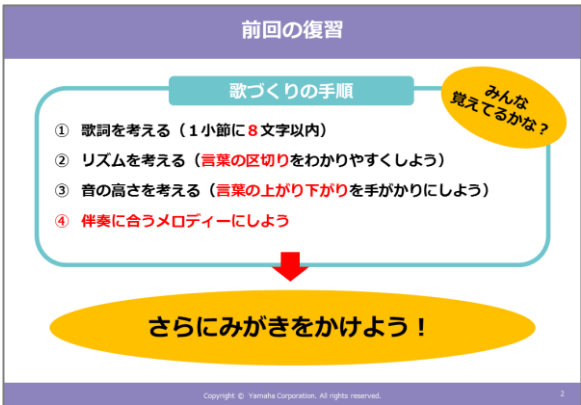


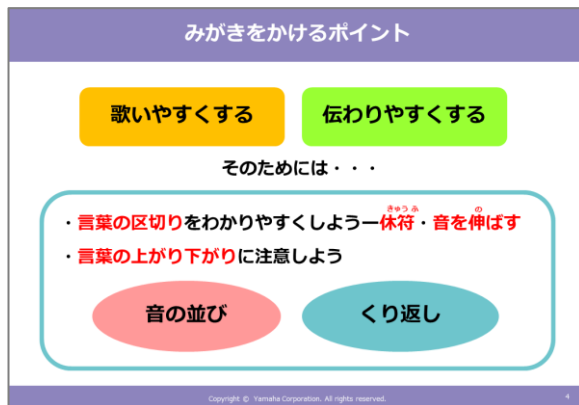
■参考シナリオ（第三時）

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	留意点
45分 導入 5分	<p>■本時の学習のめあてを確認する。(v03_bansho3.pptx : P1)</p>  <p>T: 音楽づくりの授業は、いよいよ今日で最終回です。今日のめあては「つくった歌にみがきをかけて発表しよう」です。授業の流れとしては、前回つくった歌に磨きをかけて完成させます。そしてグループごとにつくった歌を歌う練習をしてください。最後に、グループごとにできあがった作品を歌って発表してもらいます。皆さん、最終発表会で素敵な歌を発表できるようにがんばりましょうね!</p>	<p>★教師用 PC と大型モニターをつないでパワーポイントを使って説明する。</p>
	<p>■第二時の復習と進捗確認をする。(v03_bansho3.pptx : P2)</p>  <p>T: まず前回の復習をしましょう。このような手順で歌をつくっていききましたね。1小節に8文字以内で歌詞を考えて、言葉の区切りをわかりやすくするようなリズムを考えました。そして言葉の上がり下がりを手がかりに音の高さを考えて、伴奏に合うメロディーをつくりましたね。今日はその歌にさらに磨きをかけていきます。</p> <p>※ここで各グループの進捗確認をする。</p> <p>T: 皆さんとてもいい歌が出来上がってきていますね。もっともっといい歌にするため、歌に磨きをかけるポイントを説明していきます。</p>	<p>★進捗が遅く、まだ完成していないグループはブラッシュアップの時間を使って完成させるよう指導する。</p>

■メロディーのブラッシュアップの方法を説明する。

(v03_bansho3.pptx : P3~4)

T: 今日の授業の最後には、つくった歌を皆さんに歌って発表してもらいます。歌いやすく、思いが伝わる歌に仕上げたいですね。



T: そこで皆さんの歌を、「歌いやすい」そして「伝わりやすい」歌にしていきたいと思います。

そのためにはどのような点に工夫すればよいでしょうか？

これまでに学習したことで何かありますか？

C: 言葉の区切りを分かりやすくすると、言葉が伝わるし、歌いやすいよ。

C: 言葉の上がり下がりも、間違えると違った意味になって伝わらないね。

T: その通りですね。

展開
35分

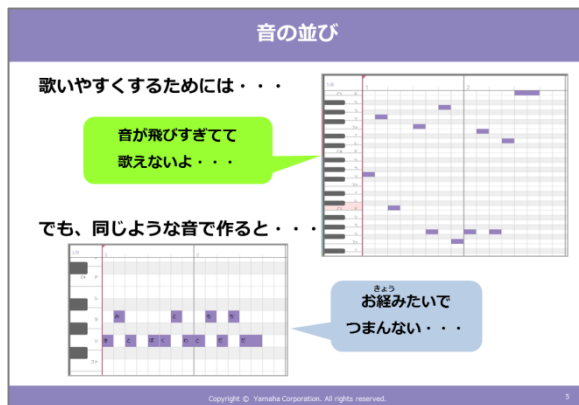
1つは休符を入れたり音を伸ばしたりして、言葉の区切りを分かりやすくすると、歌いやすく、相手に言葉が伝わりやすくなりますよね。

もう1つ、言葉の上がり下がりにも注意しましょう。「雨／飴」のように、言葉の上がり下がりで意味が変わってしまう言葉もありますから、相手に歌詞の意味をしっかりと伝えるためにも、上がり下がりには注意していきましょう。

この2つは前回の授業でも学びました。

今日はさらに磨きをかけるために、「音の並び」そして「くり返し」というポイントを説明していきます。

・音の並び (v03_bansho3.pptx : P5~6)



T: まずは音の並びについて説明します。

最初の授業でつくった「きみとぼくとは ともだちだ」という2小節の歌を例に聴いてみましょう。

1つ目の歌を聴いてください。(「kimiboku_tobisugi.vsqx」を再生)

どんな感じがしますか？

C: 音が飛びすぎていて、歌うのが難しそうです。

★教師用タブレット端末でボーカロイドの歌声を聴かせる。

T: そうですね。画面を見てもわかるように、音が飛びすぎていて確かに歌いづらそうですね。

では2つ目を聴いてみましょう。(「kimiboku_okyou. vsqx」を再生)
今度はどんな歌に聞こえますか?

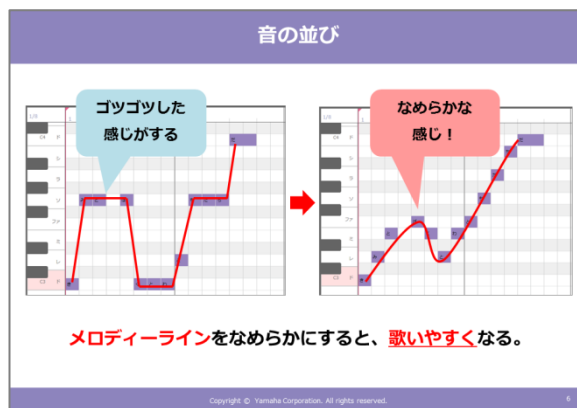
C: なんだかお経みたいでつまらない感じがします。

T: そうですね。同じような音が続いてしまうと、単純で少し物足りない感じがしますよね。

このように、音の並びは飛びすぎていても歌いづらいですし、同じ音が続きすぎてもつまらない感じがします。

多分、皆さんの歌でこんな風に音が飛びすぎていることはないと思いますが、同じような音が続いている歌になってはいませんか?

後で自分たちの歌を見直してみましょうね。



T: さらに歌いやすい歌にするにはポイントがあります。

ではまた例を聴いてもらいます。(「kimiboku_gotsugotsu. vsqx」を再生)
これはどうですか?

C: いい感じ。悪くないと思うけどな。

C: でもちょっと歌いにくそう・・・。

T: 確かに、悪くはない感じもしますが、急な動きでなんだかゴツゴツしたような印象を受けますよね。

では次の歌を聴いてみましょう。(「kimiboku_nameraka. vsqx」を再生)
この歌は先ほどの歌と比べてどんな感じがしましたか?

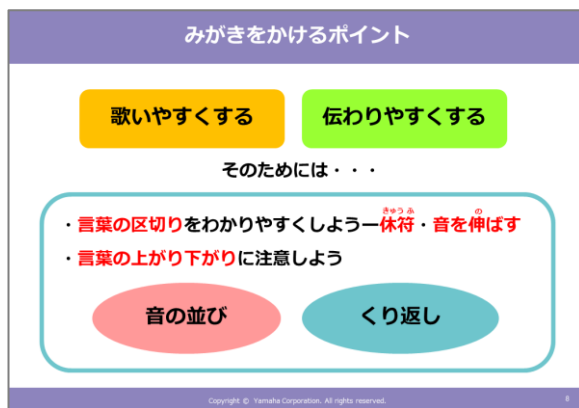
C: さっきより歌いやすそうです。

T: そうですね。先ほどの歌に比べると、音の動き(メロディーライン)がなめらかで歌いやすそうですね。

このように、メロディーラインをなめらかにすると、歌いやすくなります。
これも歌に磨きをかけるポイントですね。

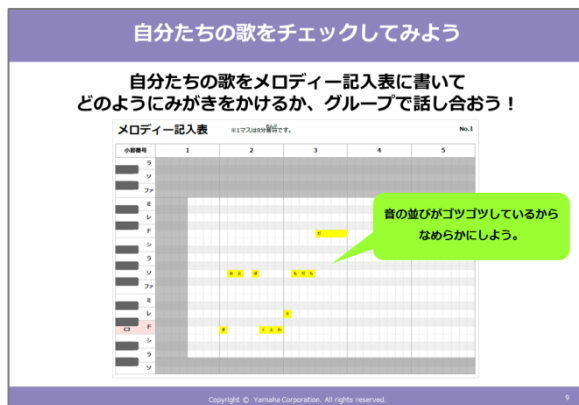
・ くり返し (v03_bansho3. pptx : P7~8)

T: では次に「くり返し」というテクニックを説明します。
 この曲は「星の世界」という曲です。
 この楽譜を見て気が付いたことをどんどん言ってみましょう。
 C: 2 段落目と、4 段落目が全部同じです。
 C: メロディーラインが全体的に似ています。
 C: リズムも同じだよ。
 T: そうですね。皆さんが気付いてくれたとおり、この曲にはたくさんのくり返しが使われています。
 「ターンタタタタ、ターーンターーン…」というリズムはどの段落でも使われていますよね。
 またメロディーも何度も同じものが使われていますよね。このように、リズムやメロディーラインをくり返すことで、曲としてのまとまりが生まれ、歌いやすく、言葉も伝わりやすくなります。




T: それでは、皆さんの歌を歌いやすく、そして伝わりやすくするために、説明してきたポイントを使って、歌に磨きをかけていきましょう。
 では、どんな風にして自分たちの歌に磨きをかけるか、グループで話し合ってもらいます。
 そして今自分たちの歌がどんな歌で、どこに磨きをかければいいのかをチェックしていきましょう。

■グループごとにどのようにブラッシュアップをするか話し合っワークシートに記入する。(v03_bansho3.pptx : P9)



T: 各グループに「メロディー記入表」を配布します。
 これはボーカロイド教育版の画面と同じように音のマスに色を塗って使います。すべて記入できたら、自分たちの歌のメロディーラインがどうなっているか確認できますよね。
 それを見ながら言葉の区切りはわかりやすくなっているか、言葉の上がり下りに注意できているか、メロディーラインのどこをなめらかにしたら

★各グループに、メロディー記入表 (v03_melody.pdf) を配布する。
 ★ワークシート 第三 (v03_sheet3.pdf) を全員に配布する。

	<p>よいか、どこをくり返すかなど、グループで話し合しましょう。 磨きをかける場所が決まったら、磨きをかける方法と、どうしてその方法を選んだのか、理由をワークシートに書きましょう。</p> <p>T: まずは前の時間に作成したデータを読み出す作業をします。 ボーカロイド教育版を立ち上げましょう。</p>  <p>T: 画面が開いたら、左上の2つ目のアイコン「ファイルを開く」をタップします。そこで、前回保存したデータを選択して「開く」を押します。 皆さんのつくった歌が表示されましたか？ それを元に「メロディー記入表」に転記して、磨きをかける場所と方法を話し合っ、ワークシートに記入しましょう。(5分程度)</p> <p>■実際にボーカロイド教育版でメロディーのブラッシュアップをする。 T: ワークシートへの記入が終わったら、実際にボーカロイド教育版を使って歌に磨きをかけていきましょう。</p> <p>■できあがった歌を歌う練習する。 T: 歌が完成したグループは、発表に向けて歌を歌う練習をしてください。 (歌に磨きをかける作業、歌の練習をする作業: 10分程度)</p> <p>■完成した作品を順番に発表し、他のグループの作品の評価をワークシートに記入する。 T: それではできあがった作品を順番に発表していきます。 その前に、皆さんのつくったデータを上書き保存してください。 それでは順番にタブレット端末を前に持ってきてください。 他のグループの作品の良かったところや、もっと工夫したらよい点などをワークシートに書きながら聴きましょう。 それでは〇〇グループの作品です。(順番に発表)</p>	<p>★大型モニターと教師用のタブレット端末をつなげて、データの呼び出し方を簡単に説明。</p> <p>★最後にデータ保存を忘れないようにする。</p> <p>★児童のタブレット端末を大型モニターにつないで、ボーカロイド教育版に合わせて順番に歌って発表していく。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>■ワークシートに音楽づくり授業全体の感想・自己評価を記入する。 T: 皆さん素晴らしい歌でしたね。 3回にわたってオリジナルの歌詞にメロディーをつける、音楽づくりに取り組んできました。感想がある人はいますか？ C: 難しかったけれど、最後は歌いやすい歌が完成しました。 C: 初めて歌がつくれて楽しかった。 C: ボーカロイドの操作が簡単で楽しかった。 T: それでは、最後にワークシートに音楽づくり授業全体の感想と自己評価を記入しましょう。</p>	